

2022年8月12日

愛知県教育委員会教育長 殿

部活動指導における保護者等からのパワハラ被害への対応を求める請願

住 所 [REDACTED]
(団体名) 愛知部活動問題レジスタンス(IRIS)
氏 名 代表 加藤豊裕 [REDACTED]

1 請願の趣旨

令和2年6月1日付で施行された「パワー・ハラスメントの防止等に関する要綱」では、同一校の職員だけでなく、他の任命権者に属する職員からパワハラを受けた場合でも、一定の対応が行われることが定められています。部活動の大会や練習試合等において、他校の顧問や部活動指導員等から理不尽な抗議を受けたり、罵声を浴びせられたりすることがありますが、この場合は現行の要綱でも対応が可能であると考えられます。

一方、自校及び他校の保護者等、教育委員会との任用関係にない者からのパワハラについては、現行の要綱では対応できません。しかし、保護者等からのパワハラは、現実には存在します。これに対して、適切な保護が受けられるようにしていただきたいです。

保護者等は、教育委員会との任用関係にないとはいえ、部活動の大会や練習試合等を見に来ている以上、学校の教育活動と一定の関わりを持っていると言えます。管理職や教育委員会職員等からその場で声をかけるなどの対応も可能です。最も望ましいのは要綱の中に明確な位置づけを行っていただくことですが、それができない場合でも、管理職や教育委員会職員等に何らかの対応を依頼できる仕組みなどを整えていただきたいです。

2 請願項目

- (1) 「パワー・ハラスメントの防止等に関する要綱」の中に、自校及び他校の保護者等からのパワハラについての対応策を盛り込むこと。
- (2) 自校及び他校の保護者等からのパワハラから職員を守る仕組みを整えること。

